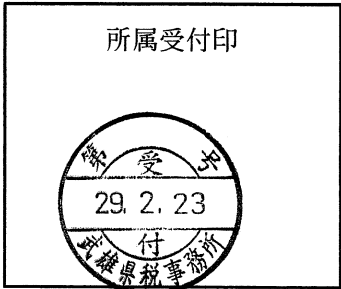


玄海原子力発電所3・4号機の再稼働に関する意見

(この用紙は、県政提案箱へご投函ください。)

* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	<p>★該当する項目をチェックしてください(複数選択可)。</p> <p><input type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input type="checkbox"/> その他</p>
<p>九州北部の海岸は、従来佐世帯尾群として取り扱われていた。しかし、近年の研究から中新世群島尾群として日本列島発生における日本海開裂時の火山性の地層で原子炉の立地が確認されている。</p> <p>60年前の唐津国幅に基づき九州電力の容量増強に大きな過渡があり再調査すべきである。</p> <p>唐津水道、肥前町に1000m以上の水平積すべり断層が存在するところから、地質学的・地質学的に2.年次調査、地層構造、層序学、2. 基底礫岩の上下の古環境を再調査、検討を求めます。</p> <p>別添資料について賛同事項をとりおめいたしますので宜しく御検討下さい。</p>	



この県政提案箱は、職員が毎日投函の有無を確認しています。

関係各位

玄海原発地盤の地層に関する質問について

武雄市

Q=！（質問グループ1：基礎地盤関係）

1. 原発の地層を佐世保層群と決定した文献は何を引用されたか。
60年前の地質図をそのまま引用されていると見れますが。
2. 原発は佐世保層群の何層に岩着させているのか。
3. 岩盤の特徴及び岩級区分Aについて説明して下さい。
4. 原発エネルギー館には、地層の説明及び柱状図の説明がないのはなぜですか。
5. 再稼働の申請には、すべて中新世前期佐世保層群の硬い地層とされているが、中新世前期の佐世保層群は加勢層の海成層と考えられるが現地は淡水性の地層ではないか。
6. 基礎岩盤は固い砂岩と赤色頁岩を展示されている。しかし赤色頁岩はこの1層だけで肥前町～呼子町に至るその下位の層準は砂泥互層の弱い地層で駄竹泥岩帯と考えられる。再調査の必要はないか。
7. 肥前町の基本的層序は基底礫岩～駄竹泥岩帯～降下火山灰層T-0（ピソライトを含む）～火砕流T-1（ピソライトを含む）～高熱火砕流T-2（下部に炭質頁岩）～砂岩層～砂岩泥岩互層から赤色頁岩～砂岩層～砂岩泥岩互層で海面下に至る構成である。
赤色頁岩の下位はすべて砂岩赤色頁岩の互層と確認されたのか。
基底礫岩層は確認されたのか。
8. 佐世保市～松浦市御厨～鷹島～肥前町～玄海町～呼子町まで中新世野島層群を特徴付ける動物化石・足跡化石・淡水性貝化石・堆積環境が確認されている。
玄海原発においてこれらの特徴を有する地質学的知見を確認されているならその標本を示して戴きたい。
9. 基本的層序は佐世保市における野島層群の層序と一致しているので確認されたのか。
10. 原発及び周辺の地層の年代測定はされましたか。されてあればその岩盤と測定方法及び測定値を示してください。
11. 古生物学上の基底礫岩を挟んで上下の古環境を説明してください。
12. 鷹島大橋の佐賀県側は地質調査報告書では佐世保層群となっていたが、直上部の取り付け道路の砂岩層にリップルマークがあり傾斜角10度で盛土が崩壊した。原発地盤は20～40度と示されており安全性は確保

できるか説明されたい。

13. 九州電力は呼子町弁天島の地層を原発の地層と同じ佐世保層群として説明され、そのまま合格書が出されている。しかし遊歩道下に肥前町と対比できる火砕流堆積物T-1・T-2およびその上位の砂岩層が確認でき、さらにその上位の地層として加部島に動物足跡化石及び淡水性堆積構造が確認できる。佐賀県地質図から肥前町・玄海町及び呼子町の3か所が作成当時同1つの地層として示されている位置と一致している。新しい知見が発表されているので地質図の引用について重要構造物については再検討する必要がある。

Q=2 (質問グループ2:地盤変動関係)

1. 原発南方に落差800mのスラストが発生し日比水道にその延長が想定され、60年前の唐津図幅にも指摘されている。東側の入野断層において、地層の水平移動量がかなり大きいことが調査の結果確認している。さらに火砕流堆積物が2度海岸に発生していることから大きなすべり圧縮現象が想定される。

この地域に何らかの地盤変動が発生していることが想定されるので再調査が必要と考えている。

2度火砕流堆積物が出ることはすべり破壊における末端部の圧縮場の存在と考えられるので現地確認検討が必要でないか。

まとめ

以上の考察・学会報告から再度以下の質問を確認します。

1. 地質学の基本原則に基づき古生物学における整合性についての再検討
2. 年代測定の再検討
3. 層序対比の再検討
4. 古環境の再検討
5. 赤色頁岩層の下位砂泥互層の再検討
6. 原子炉地盤の岩級区分のA説明
7. 審査報告書での記載がエネルギーパークの展示説明に全く記載されていないのはなぜですか。
8. 日比水道周辺の海底断層と水平変位の検討及び入野断層の検討
9. 駄竹泥岩帯及び基底礫岩の分布と基礎地盤の支持力への影響

以上